

I 平成 28 年度事業報告

さとうきびは、本県の南西諸島の基幹作物として、地域経済を支える重要な作物であることから、当協会では、「県さとうきび増産計画」に基づき関係機関・団体と一体となって増産対策に取り組むとともに、農家の高齢化や労働力不足が進行する構造的変化に対応した担い手の育成や地域営農の組織体制づくり等に取り組んでいる。

平成 28 年度においては、優良品種選定等の試験研究、酒造用含みつ糖の生産安定対策を推進するとともに、種子島糖業振興会及び奄美群島糖業振興会と連携した担い手の育成に向けた地域活動の支援のほか、さとうきび生産改善共励会等を実施するなど、さとうきびの品質及び生産性向上の取組を推進した。

また、さとうきびの品質取引については、これまで、琉球大学等の協力を得て、細裂 N I R 法による品質測定の基準となる検量線の開発などに取り組んできており、平成 28 年度も引き続き検量線の精度向上のための分析や測定装置の点検を進めるとともに、品質取引立会人や分析に従事する実務者を対象とした研修会の開催など、細裂 N I R 法による品質取引の円滑な運用に向けた取組を進めたほか、品質測定システムの老朽化等に伴う次期更新に向けた機種を選定等について、沖縄県糖業振興協会と連携して検討を行った。

さらに、平成 28 年 6 月に奄美地域を対象に、さとうきびの重要害虫であるメイチュウ類（特にイネヨトウ）の発生予察注意報が発出されたことから、さとうきび増産基金を活用して防除薬剤の購入と一斉防除の実施による被害防止に向けた取組の支援を行った。

これまでのさとうきび増産基金事業等による各種の取組の結果、平成 28 年産さとうきびの生産は、収穫面積が前年産より僅かに減少したものの、適度な降雨や台風被害も比較的少なかったことから、生産量は平年を大きく上回る 63 万トンに達した。

このような中で年度末に、協会臨時職員による長年に渡る協会資金横領事案が判明したため、関係書類の調査及び本人への聴聞等により被害額の概数を明らかにし、4 月 6 日、鹿児島中央警察署に告訴状を提出するとともに報道関係への発表を行った。

なお、4 月 21 日に臨時理事会を開催し、事実関係の把握状況や再発防止のための措置、法人の説明責任、並びに役職員の責任について協議を行ったところである。

事業別実績

事業名	実施状況		
1 さとうきび品質取引対策基金事業 (1) 総会・理事会	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="512 349 683 495">みなし総会</td> <td data-bbox="683 349 1482 495"> (1) 時期:平成 28 年4月 28 日 (2) 議案 ・理事の選任(書面決議) 川野理事, 大谷理事 </td> </tr> </table>	みなし総会	(1) 時期:平成 28 年4月 28 日 (2) 議案 ・理事の選任(書面決議) 川野理事, 大谷理事
	みなし総会	(1) 時期:平成 28 年4月 28 日 (2) 議案 ・理事の選任(書面決議) 川野理事, 大谷理事	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="512 495 683 842">理事会 (第1回)</td> <td data-bbox="683 495 1482 842"> (1) 時期:平成 28 年 5 月 16 日(鹿児島市) (2) 議案等 ・理事長及び専務理事の選任 ・定時総会に付議する事項 (H27 事業報告・決算諸表, 定款の一部変更) ・定時総会の招集決定 ・平成 28 年度収支予算の補正 </td> </tr> </table>	理事会 (第1回)	(1) 時期:平成 28 年 5 月 16 日(鹿児島市) (2) 議案等 ・理事長及び専務理事の選任 ・定時総会に付議する事項 (H27 事業報告・決算諸表, 定款の一部変更) ・定時総会の招集決定 ・平成 28 年度収支予算の補正
	理事会 (第1回)	(1) 時期:平成 28 年 5 月 16 日(鹿児島市) (2) 議案等 ・理事長及び専務理事の選任 ・定時総会に付議する事項 (H27 事業報告・決算諸表, 定款の一部変更) ・定時総会の招集決定 ・平成 28 年度収支予算の補正	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="512 842 683 1133">定時総会</td> <td data-bbox="683 842 1482 1133"> (1) 時期:平成 28 年 5 月 31 日(鹿児島市) (2) 議案等 ・平成 27 年度事業報告及び決算諸表の承認 ・定款の一部変更 報告事案 ・平成 28 年度事業計画及び収支予算 </td> </tr> </table>	定時総会	(1) 時期:平成 28 年 5 月 31 日(鹿児島市) (2) 議案等 ・平成 27 年度事業報告及び決算諸表の承認 ・定款の一部変更 報告事案 ・平成 28 年度事業計画及び収支予算
定時総会	(1) 時期:平成 28 年 5 月 31 日(鹿児島市) (2) 議案等 ・平成 27 年度事業報告及び決算諸表の承認 ・定款の一部変更 報告事案 ・平成 28 年度事業計画及び収支予算		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="512 1133 683 1514">理事会 (第 2 回)</td> <td data-bbox="683 1133 1482 1514"> (1) 時期:平成 29 年 2 月 9 日(鹿児島市) (2) 議案等 ・平成 28 年度資産運用計画の変更 ・平成 29 年度事業計画(案)及び収支予算(案)並びに 資金調達・設備投資の見込み ・委員会規程の一部変 ・平成 29 年度事務局長の任免 ・理事長・専務理事の業務執行状況報告 </td> </tr> </table>	理事会 (第 2 回)	(1) 時期:平成 29 年 2 月 9 日(鹿児島市) (2) 議案等 ・平成 28 年度資産運用計画の変更 ・平成 29 年度事業計画(案)及び収支予算(案)並びに 資金調達・設備投資の見込み ・委員会規程の一部変 ・平成 29 年度事務局長の任免 ・理事長・専務理事の業務執行状況報告	
理事会 (第 2 回)	(1) 時期:平成 29 年 2 月 9 日(鹿児島市) (2) 議案等 ・平成 28 年度資産運用計画の変更 ・平成 29 年度事業計画(案)及び収支予算(案)並びに 資金調達・設備投資の見込み ・委員会規程の一部変 ・平成 29 年度事務局長の任免 ・理事長・専務理事の業務執行状況報告		

<p>(2) 推進体制整備対策事業</p>	<p>目的:さとうきびの生産振興, 品質取引対策の推進, 酒造用含みつ糖の生産対策, 新品種の選定等に必要な事項の検討</p>	
	<p>(1) 委員会の活動推進(委員会の開催状況)</p>	
	<p>1 企画運営委員会 (1回開催)</p>	<p>第1回 H28.5.10 鹿児島市 9人 (1) 平成28年度第1回理事会の付議事項 ア 平成27年度事業報告及び決算諸表の承認 イ 平成28年度予算の補正について ウ 平成28年度定時総会の招集の決定ほか (2) その他</p>
	<p>2 さとうきび品質取引対策委員会 (1回開催)</p>	<p>H28.7.6 鹿児島市 21人 (1) 平成27/28年期さとうきび品質取引実績 (2) 平成27年度細裂NIRによる品質測定の実施状況 (3) 平成27年度品質取引測定システム検査業務結果及び平成28年度計画 (4) 細裂NIRによる品質測定の問題点と対策</p>
	<p>3 酒造用含みつ糖生産対策委員会 (1回開催)</p>	<p>H28.12.26 奄美市(大島支庁) 9人 (1) 平成27年度酒造用含みつ糖関係事業実績 (2) 平成28年度酒造用含みつ糖関係事業計画 加計呂麻島のさとうきび生産計画, 酒造用含みつ糖生産計画, 契約数量と補給金単価 (3) 今後の酒造用含みつ糖の生産方針と需要</p>
<p>4 さとうきび試験研究委員会 (2回開催)</p>	<p>第1回 H28.11.16 種子島 57人 〈現地検討〉生産力検定試験ほ場ほか 〈室内検討〉 (1) 種子島におけるさとうきびの現状と課題 (2) 各島における生産力検定試験の中間成績 (3) 地域における最近の品種及び栽培型の動向 (4) 新品種育成についての要望 第2回 H29.3.2 鹿児島市 49人 (1) 平成28年度育種・品種試験の成績 育種試験, 系統適応性試験, 奨励品種決定試験, 現地試験 (2) 平成29年度育種・品種試験の設計 新配布系統の紹介, 苗の供給・配布計画, 奨励品種決定・系統適応性・現地試験の各設計, 試験用苗の増殖計画 (3) 協会委託試験の成績及び設計 (4) 情報提供(DNA マーカーを活用したサトウキビ育種プ</p>	

ロセスの構築, 米国レイジアナ州ならびに台湾におけるサトウキビ育種)
 (5) 各島のさとうきび生産及び品質取引の実施状況及び平成 29 年度研究成果発表会の開催計画

(3) 品質取引推進対策事業
 ア 品質取引立会人設置事業

目的: 品質取引を円滑に推進するための立会人設置
 (1) 立会人従事实績(平成 28 年 12 月~29 年 5 月)

(単位: 人, 日)

会社名 項目	新光 糖業	富国 製糖	生和 糖業	南西糖業		南栄 糖業	与論島 製糖	合計
				徳和瀬	伊仙			
配置人数	3	3	4	3	3	2	2	20
(うち専任)	1	1	2	1	1	1	1	8
立会日数	85	47	84	83	70	103	77	549

※立会日数: 専任立会人の立会日数

(2) 品質取引立会人研修会

ア 期日等: 平成 28 年 11 月 24~25 日 徳之島 17 人

イ 内容: 細裂NIR法による品質測定要領, 平成 28 年度立会業務の進め方, さとうきび情勢, 研修(さとうきび関係試験の実施状況: 県農業開発総合センター 徳之島支場)

現地研修: 南西糖業徳和瀬工場での品質取引業務実演

ウ 参集者: 品質取引立会人, JA, 製糖会社, 生産対策本部等

イ 品質取引推進指導事業

(1) 品質取引測定システム管理業務の委託

製糖工場の品質測定システム(細裂NIR)の管理業務について, NPO法人 亜熱帯バイオマス利用研究センター(事務局: 琉球大学内)に委託し, 分析機器(カッターグラインダー, 近赤外分光分析計)の点検及び検量線の維持管理に必要な調査・試験を実施した。

(2) 品質取引分析装置の点検認定証の交付

NPO法人 亜熱帯バイオマス利用研究センターによる品質分析機器の点検結果に基づき, 点検認定書を交付した。

(3) 品質測定システム安定運用研修会の開催

細裂NIR法に係る分析機器の取扱い(分解・組立を含む)や, 前年度発生したトラブル対応について, メーカーやNPO法人 亜熱帯バイオマス利用研究センター等の協力を得て, 研修会を開催した。

(H28. 10. 11~12 南栄糖業(株)和泊工場 18 人)

(4) さとうきび品質取引対策委員会の開催【再掲】

H28. 7. 6 鹿児島市 21 人

(4) 品質・生産性向上対策事業

(1) 品目別経営安定対策に係る地域活動支援

種子島糖業振興会及び奄美群島糖業振興会に対し、地域活動支援事業（生産対策資料等作成及び検討会参加、ハリガネムシモニタリング調査等への助成）を実施した。

(2) さとうきび生産改善共励会の実施

さとうきびの生産振興に意欲的に取り組み、品質及び生産性向上が図られ、他の模範となっている地域（島別）、営農組織（団体）並びに農家を表彰し、その成果を普及するため、さとうきび生産改善共励会を実施した。

・審査会の開催 H28. 10. 18 鹿児島市 10人

<地域（島別）の部>

・糖業振興協会理事長賞（最優秀賞）：与論島地域

<団体の部>

今年度は推薦なし

<農家の部>

・知事賞（最優秀賞）：折口 好喜（西之表市）

・農畜産業振興機構理事長賞（優秀賞）：野本 勝彦（与論町）

(3) さとうきび増産推進支援事業

さとうきび増産に向けた地域の重点課題解決のための自主的な取組に対し支援を行った。

・実施主体：西之表市さとうきび・澱粉用甘しょ増産推進会議，大島本島さとうきび生産対策本部，喜界町糖業振興会，天城町糖業振興会，沖永良部さとうきび生産対策本部，与論町糖業振興会

・事業内容

① 担い手の育成

担い手組織の育成支援，農作業受委託の推進，生産対策資料の作成・配布，研修会の開催，農業共済への加入促進等

② 病虫害防除対策・種苗確保対策

アオドウガネ可動式誘殺灯の導入，メイチュウ防除体系調査等

・事業費及び助成金 事業費：5,343千円

（うち助成金 2,976千円 補助率：定額）

(4) さとうきび生産性向上事例調査

不作要因となっている潮風害，長期の干ばつ，病虫害等に対応した肥培管理対策を検討し，本県さとうきびの生産性向上に繋げるため，沖縄県の先進事例を調査した。

実施時期：H28.12.7 調査地：沖縄県久米島町 参加者：8人

さとうきび生産の機械化や農作業受託組織の育成，さとうきび品種，害虫防除対策等について調査。

(5) さとうきび・甘蔗糖関係検討会への参加（開催地：種子島）

農畜産業振興機構主催の検討会に参加し，さとうきび生産をめぐる情勢を把握するとともに，講演，パネルディスカッション，研究成果発表等を通してさと

うきび生産の現状と課題等の情報収集に努めた。また、現地視察を通して、種子島のさとうきび生産や試験研究の実情を把握した。

(6) さとうきび品種利用許諾

各市町で設置している原苗ほから農家等への登録品種苗の譲渡に係る利用許諾料の納付

対象品種:農林 18 号, 農林 22 号, 農林 23 号, 農林 30 号, 農林 32 号

納付先:国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

許諾料:73,838 円(2,399,660 本×1.427 円・1.390 円×2%×1.08)

(苗の譲渡本数×単価×利用率×消費税)

2 酒造用含みつ糖生産合理化基金事業

目的:加計呂麻島で生産されるさとうきびの生産安定と酒造用含みつ糖の安定供給を図るための生産合理化補給金の交付

(1) 補給金の交付 (平成 27 年産契約数量に対する補給金の交付)

①交付年月日 平成 28 年 6 月 21 日

②交付数量 100 ケース(1 ケース 30kg)

③交付額 400,000 円(4,000 円×100 ケース)

(2) 酒造用含みつ糖生産対策委員会(H28. 12. 26)【再掲】H29.2.2 最終決定

(平成 28 年産の販売量, 補給金単価の協議→平成 29 年度に交付)

①含みつ糖の製造販売コスト 30kg当たり 13,550 円(農協渡し価格)

②酒造組合への売渡価格と販売量 7,000 円 200 ケース

③補給金単価(1ケース) 6,550 円(13,550 円-7,000 円)

④補給金の分担 糖業振興協会 5,550 円

瀬戸内町 1,000 円

⑤協会の交付額 1,110,000 円(5,550 円×200 ケース)

3 甘しや糖企業合理化推進事業

目的:製糖会社の経営合理化を推進するための「甘しや糖企業合理化計画」(さとうきび・糖業再活性化事業により平成 10 年度に策定)に基づく短期借入金に対する債務保証

会社名	債務保証額	融資機関及び借入期間
南栄糖業(株)	16,290,000 円	鹿児島銀行沖永良部支店 H28.8.5~29.8.4

※保証額:協会が同会社から預っている金額(16,290,000 円)と同額

4 さとうきび試験研究事業

目的:さとうきびの新品種選定, 技術開発研究, 栽培管理技術の普及

(1) 技術研究推進事業

ア さとうきび試験研究委員会の開催 2 回開催【再掲】

1回目 H28.11.15 種子島 57 人

2回目 H29.3.2 鹿児島市 49 人

Ni27(農林 27 号)について, 平成 28 年度さとうきび試験成績検討会での

<p>5 さとうきび増産基金事業 (農林水産省補助事業)</p>	<p>協議結果を踏まえて、平成 28 年 7 月 28 日、県奨励品種に選定された。</p> <p>イ さとうきび研究成果発表会及びシンポジウムの開催 (ア)期日等:H28.7.20 鹿児島市 124 人 (イ)内容:①研究成果の発表 ②シンポジウム テーマ:「効率的な生産体制の構築によるさとうきび生産の維持・拡大」 事例発表(4 事例) 総合検討</p> <p>(2) 新系統現地適応性検定事業 各島の糖業振興会又はさとうきび生産対策本部に委託し、新系統の生産力検定試験等により奨励品種決定の基礎データを得た。</p> <p>(3) 技術開発研究事業 生産現場で抱えている技術的課題等について、専門的知見を有する県農業開発総合センター等に委託して研究開発を実施した。</p> <p>ア サトウキビ用新規生分解性マルチ資材の選定と早期高糖性品種に対するマルチ効果の実証 (熊毛支場) [H27～29] ①新規マルチ被覆資材の選定 ②高糖度品種(農林 22 号, 農林 32 号)のマルチ効果の実証</p> <p>イ かん水施肥による気象災害後の生育回復技術の確立 (徳之島支場)[H27～28] 気象災害により葉が損傷を受けた場合の生育回復や収量低下抑制に向けた畑かんを利用した肥培管理技術の確立</p> <p>ウ 多回株出しに対応した新栽植様式の開発と株出しにおける効率的な施肥法の確立 (熊毛支場) [H28～32] ①高密度栽植様式の開発 ②2 条植え・条間深層施肥による肥効の安定化</p> <p>エ 大規模経営体を支える夏植え多回株出し栽培技術の確立 (徳之島支場) [H28～32] ①ビレットプランタ植付けを前提とした栽培管理技術の確立 ②緑肥間作による地力向上技術の確立</p> <p>オ サトウキビ製糖の清浄工程における管理技術の構築 (工業技術センター)[H28～30] ①清浄工程より回収したキビジュースの成分分析方法 ②清浄化条件の検討</p> <p>さとうきび生産及び製糖において、台風や干ばつの等の自然災害や病害虫が異常発生した場合等のセーフティネットとして、平成 24 年度に造成した基金の残額を活用して、災害の状況に応じた対策を講じることにより、さとうきびの持続的な再生産や次期操業に向けた製糖関連施設の機能強化を図る。</p> <p>(1)さとうきび自然災害被害対策事業(生産者支援) ・発動根拠:メイチュウ類(イネヨトウ)の病害虫発生予察注意報</p>
--------------------------------------	---

- ・対象地域:奄美地域
- ・事業主体及び事業内容
各島のさとうきび生産対策本部・糖業振興会
薬剤(サムコルフロアブル剤, ダントツフロアブル剤, プレバソン
粒剤)購入費助成
- ・事業費及び助成金
237,798 千円(うち助成金 227,826 千円)

(参 考)

平成 27 年度繰越分

(1)さとうきび自然災害被害対策事業(生産者支援)

- ・発動根拠:台風被害等による単収の平年比10%以上の減少
- ・事業主体及び事業内容
 - ①西之表市さとうきび生産振興総合対策推進会議
種苗ほ買上, マルチ購入, 農作業受託料助成
 - ②中種子町さとうきび生産対策協議会
種苗ほ買上, マルチ購入, 農作業受託料助成
 - ③南種子町糖業振興会
種苗ほ買上, 農作業受託料助成
- ・事業費及び助成金
288,432 千円(うち助成金 192,661 千円)

(2)国内産糖自然災害影響緩和対策事業(工場支援)

- ・発動根拠:台風被害等による単収の平年比10%以上の減少
- ・事業主体及び事業内容
 - ①種子島:新光糖業(株)
製糖施設の機能強化(原料圧搾, 清浄, 結晶, 分蜜, ボイラー, 電力,
真空設備)
 - ②奄美大島:富国製糖(株)
製糖施設の機能強化(原料裁断, 原料圧搾, ボイラー設備)
- ・事業費及び助成金
104,313 千円(うち助成金 57,950 千円)